自然を守ろう新聞

伊仙町立伊仙小学校
6年 田上蘭花
6年 政 愛怜菜

徳之島の自然をいかしたエネルギー

緑のエネルギーとは。

緑のエネルギーは、太陽光、風力、水力、地熱、・バイオネスなどから作られるエネルギー。

波のエネルギーとは

波のエネルギーは、ある位置を通過する波のエネルギーの量。

さとうきびのエネルギーとは

さとうきびのエネルギーは余らすことのなく完全循環型農法で食料および生み出すことができる。

地球温暖化とは？

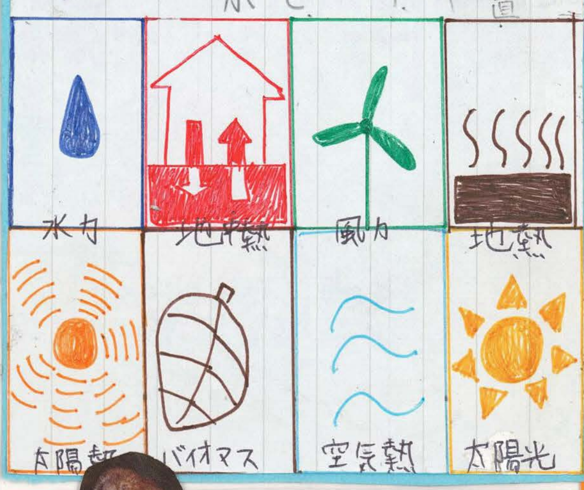
二酸化炭素などの温室効果ガスが主因となって地球表面の気温の急速にじょうしょうすることです。

地球温暖化のえいきょう

地球の温暖化が進むときさまざまなえいきょうが出てきます。たとえば、気温があることによって海面が上昇します。すでに過去100年の間に平均17センチも上がっていて、海にしずむ危険が増している国や地面の乾燥が進んで森林火災が増える一方で、山岳地域などでは氷河がとけ出し、大変なこう水被害が発生するねなど、自然災害も増える可能性があります。生能系へのえいきょうも深刻で急激な環境の変化について物が増加します。私たち人間の暮らしにももちろんえいきょうがあります。これまで栽培できていた地域で作物が育たなくなったり、水不足におちいる地域も出てきます。その結果、飢餓や病気も増えていくことが予想されています。

エネルギーの種類

エネルギーには位置エネルギー、運動エネルギー、熱エネルギー、電気エネルギー、光エネルギーなどいろいろな種類があります。



サンゴがなくなるとどんな影響があるのか？

・魚が激減する。
・さらに地球温暖化が進む。
・沿岸の波が強くなり、災害時の被害が大きくなる。
・観光資源がなくなる。

畑の土や肥料が雨でたくさん海に流れることでサンゴは死んでしまうこともあります。あとサンゴのエネルギーを作ると海のバランスが悪くなります。

サンゴを守るために自分たちでできること!!

・サンゴをふまない
・ゴミを捨てない
・ゴミを拾う

サンゴを守るためにはみんなにもできることがあるので海に行った時は、取り組んで見ましょう。

災害とエネルギー

〈停電〉

2018年9月に上陸した台風21号は関西地方を中心に強風が吹き、電柱がたおれたり、電線が切れたりするなどの被害が出ておよそ240万戸が停電した。ほとんどの地域は停電から数日で復旧したが、倒木や土砂くずれなどの被害を受けた地域に立ち入れないなどの理由で、停電が解消するまで16日間かかった。

〈電気〉

地震や津波によって多くの発電所が運転を停止した。また、送電設備や電柱などあらゆる設備が被害を受けたため、東北地方の約466万世帯関東地方の約466万世帯、関東地方の約405万世帯で停電になった。被害が大きかったことから、協力会社やほかの地域の電力会社からも多くの応援隊がかけつけ、一丸となって復旧作業をおこなった。地震発生から3日後には、停電した地域の約80%で電気が復旧したが、全ての地域に電気を送れるようになるまで3カ月かかった。

東日本大震災

2011年3月11日におきた東日本大震災では、大津波が太平洋沿岸を中心とした広いはんいの市町村をおそった。沿岸部では、多くの人が命をうばわれ、建物、家などが津波で流された。また、電気、ガス、水道などの設備に大きな被害をあたえ、人々はいつも通りの生活が困難になった。

牛のふんをどうしているのか？

牛糞は、ウシの糞です。廃棄物として処理が問題になる一方で、肥料や燃料、建築材料などとして利用され、宗教行事にも用いられています。

牛糞たいひの作り方!!

牛糞堆肥は3〜6ケ月間何度も空気を入れるために切り返しを行い、発酵させることで作ります。発酵中は80度ほどの熱があるので病原菌が減り、雑草の種も死滅します。ただ、牛糞が発酵するには、水分量が70%くらいでなければなりません。

発電のしくみ

バイオマス発電のしくみ!?

バイオマス発電とは、動植物からえられるエネルギーです。木のくずや動物のふん食品の生ごみなどを利用して電気を作る方法です。そのまま燃やしたり燃料やガスにして発電しています。

バイオマスエネルギーの種類

木質燃料
木くず、いらなくなった木材など

バイオ燃料（バイオエタノール）
トウモロコシのくきサトウキビのしぼりかすなど

バイオガス
生ごみ、家ちくのふんにょうなど

メリット
・ごみとしてすてられていたものをエネルギー資源として活用できます。

デメリット
・火力発電と同じように安定して発電できます。
・燃料を集めたり運んだりするのに費用がかかることです。

太陽光発電のしくみ!?

太陽光発電は太陽の光エネルギーを光電池に集め電気に変える発電方法であります。家庭用の太陽光発電や広い土地を利用したメガソーラー（大規模太陽光発電施設）がふえてきています。

メリット
・電気を作る時に二酸化炭素を出さないです。

デメリット
・日が照っていないと発電ができません。
・大量に発電するには広い設置面積が必要です。

徳之島の未来

・徳之島の未来は地球温暖化が進むと動物が減っていったり自然災害が増えていくことが予想されます。地球が悪化されることも予想されます。なので自然災害のことかもしっかり考えないといけんだと思います。

地球温暖化が進まないために使わない電気とかもけしたりむだづかいをしないように取り組んで徳之島の未来を明るくしていきたいです。

地球温暖化をおくらせる取り組み

・再生可能エネルギー
自然資源から電気などをつくる、再生可能エネルギーの導入が進んでいます。

・ガソリンを使わない車!?
ガソリンを使わずに走る電気自動車や燃料電池車の開発・普及も行われています。

・森林を元気に
空気中の二酸化炭素をたくさん吸収できるよう、森林を元気にします。

・小さな暮らし
節電や節水、ゴミを減らすなど、暮らし方そのものの見直しも効果的です。

出典
・https://netzronow.jp
・https://www.amami-sango.com/
・https://kids.yahoo.co.jp/
・https://wearth.tokyo/
・かがやけみんなのエネルギー

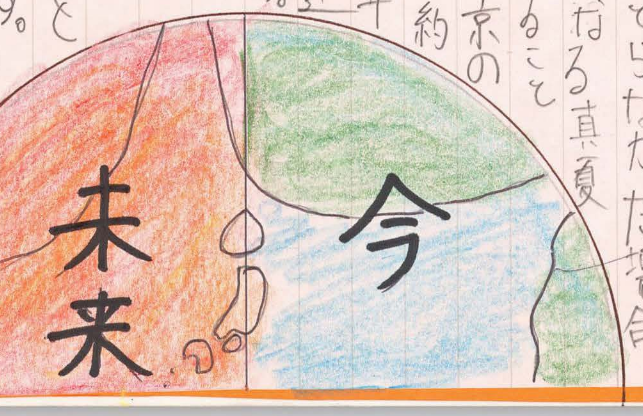
地球の今と未来!?

地球の今

地球温暖化によるここ数十年の気候変動は、人間の生活や自然の生態系にさまざまな影きょうを与えています。たとえば、氷河の融解や海面水位の変化、洪水や干ばつなどの影きょう、陸上や海の生態系への影きょう、食料生産や健康など人間への影きょうが観測され始めています。気温の上昇現在以上の温暖化対策をとらなかった場合、最高気温が30度以上となる真夏日の日数は更に増加することが予測されています。東京の現在の真夏日は年間約46日。21世紀末には、年間約103日、1年の3割近くが真夏日となります。

地球の未来

約30年後には、世界規模で地球環境が今よりも悪化することを懸念しているものです。地球温暖化が進み、世界規模で地震や津波、豪雨・竜巻、台風などのさまざまな国や地域で災害とも呼べる異常気象が続いています。自然災害は毎年少しずつ増え続け、今後さらに増えることが予想されています。



まとめ

地球温暖化が進むと、少しずつ自然災害が増え未来が悪い方向へと進んでいきます。悪い方向に進まないように自分達にできることを考えていきましょう。

エネルギーにはさまざまな種類や特徴がありますが、エネルギーの選択次第で持続可能な社会を目指すことが可能となります。再生可能エネルギーを有効していきましょう。

感想

愛怜菜
私は、かべ新聞のおかげで再生可能エネルギーのことをたくさん知ることができました。これからも、自分にできることを考えてやっていきたいと思いました。

蘭花
私はかべ新聞をしてたくさんエネルギーのことを知れたし未来のことや、地球温暖化のこともしっかり知れたのでいつどこでなにが起きることかしっかり分りました。これからもエネルギーのことをたくさん知りたいです。